

第8回
北京国際映画祭 展映部門
正式上映作品

希望に向かって

葉

Shiori



三浦貴大

阿部進之介 / 白石聖 / 池端レイナ / 福本清三 / 鶴見辰吾
前原滉 / 佐藤玲 / 辻本亮 / 池田香織 / 潤浩 / 黒澤はるか / 淡江謙二 / 今本洋子

監督: 榊原佑

主題歌:「Winter」 作曲:Liam Pickler / 西川裕平 編曲:魚返明未 / ヒラノ西川裕平

原案:三浦貴大 脚本:三浦貴大 演出:三浦貴大 監督:榊原佑
プロデュース:プロデュース 監理:三浦貴大 製作:三浦貴大 企画:三浦貴大 制作:三浦貴大
脚本:三浦貴大 監督:榊原佑 原案:三浦貴大 脚本:三浦貴大 演出:三浦貴大 監督:榊原佑
制作:プロダクション・エンターテインメント 制作:プロダクション・エンターテインメント
制作:プロダクション・エンターテインメント 制作:プロダクション・エンターテインメント
制作:プロダクション・エンターテインメント 制作:プロダクション・エンターテインメント

10.26
Roadshow



映画「葉」製作委員会

<https://shiori-movie.com>



ある理学療法士の実話をもとに紡いだ、命の物語



真面目な性格で、献身的に患者のサポートに取り組む理学療法士の高野雅哉を通して描く、命の物語。本作でメガホンをとったのは、初監督作の短編映画「平穏な日々、奇蹟の陽」で、アジア最大の国際映画祭「ShortShortFilmFestival2014&Asia」のJAPAN 部門ノミネートを果たした榊原有佑。長編2作目となる本作は監督の実体験にフューチャーして描かれ、自らが脚本も手掛けています。主人公の高野を演じるのは、安定した演技で定評のある若手実力派、三浦貴大。患者と向き合う日々の仕事の中で、不治の病に倒れた父への思いを抱え、自分自身への限界を感じ苦悩する高野を重厚感溢れる演技で熱演。高野と

向き合うことになる元ラグビー選手の患者を、2004年の『超星神グランセイザー』でインパクト大の演技で人気を博し、以降個性的な演技で注目を集める阿部進之介が演じています。そして高野の妹役には、白石聖。職場の同僚に池端レイナといった若手が集結。更に高野の祖父役に、時代劇の斬られ役として知られる福本清三。父役には数多くのドラマ・映画で存在感を放つ鶴見辰吾といったベテラン俳優陣が脇を固めています。「僕に何ができるのか?」——人生において誰もが自問自答するであろうこの疑問に、寄り添うように向き合い、丁寧に描かれた感動の物語が誕生しました。



元理学療法士の
経歴を持つ、
榊原有佑監督が
自身の経験をもとに紡いだ
真実の物語。

出来ることには限界があるけど、
少しづつ出来ることを増やしていかないと—

真面目な性格で、献身的に患者のサポートに取り組む理学療法士の高野雅哉。幼い頃に母親を亡くし、現在は父親の稔、妹の遥と離れて暮らしている。そんなある日、雅哉が働く病院にしばらく会っていなかった父・稔が入院してくる。日に日に弱っていく稔の姿、担当患者の病状が悪化するなど理学療法士として何ができるのか自問自答の毎日で無力感に苛まれる。しかし、そんな時ラグビーの試合中にケガをした新たな入院患者を担当することになった雅哉。その入院患者の懸命に生きようとする姿に感化され、徐々に仕事への熱意を取り戻していく雅哉だったが……。病院という身近な人の死を経験する場所で理学療法士として、雅哉の選択していく生き方は…。

理学療法士とは…

理学療法士は、病院だけでなく、福祉施設・業間・介護施設・スポーツ関連施設など様々な分野で活躍している運動のスペシャリストです。人に寄り添い、向き合いながら患者さんをサポートしています。

※理学療法士免許取得者数:161,476人 / 理学療法士協会会員数:115,825人 (2018年3月末データ)

[Twitter](#) [Facebook](#) #shiorimovie
<https://shiori-movie.com/>

